

令和7年度 流山市立江戸川台小学校 学校経営方針

学校教育目標 自ら考え行動する 心豊かで笑顔あふれる子どもの育成

1 はじめに

～Well-being(ウェルビーイング)な学校作りを～

心理的安全性(安心できる居場所)がある学校に

「ウェルビーイング」とは、「心身ともに満たされた状態」、「よいあり方」、「持続的な幸せ」

個人のウェルビーイングを高めることから、組織、学校のウェルビーイングへ広げる。

まず、先生方が安心感、充実感、自己肯定感、満足感をもって働いて欲しい。

先生が楽しいと子供たちが幸せに感じる。(自己肯定感、所属感、充実感、達成感、安心感)



職員、子供たちが幸せを感じて過ごせたら、

学校が笑顔いっぱい、誰もが安心して学べる場所になる。

自分の力を伸び伸びと発揮することができる場所になる(先生も子供も)

困難なことが起こっても、くじけず生きていく力がつく。

2 めざす児童像

にこにこ

豊かな心

- ・自他を大切にする子
- ・あいさつを大切にする子
- ・一生懸命頑張る子
- ・つながり、ふれあいを大切にする子

わくわく

確かな学力

- ・進んで考える子
- ・進んで考えを表現する子
- ・学びを活かす子
- ・進んでチャレンジする子

いきいき

健やかな体

- ・進んで体をきたえる子
- ・命と健康を大切にする子
- ・安全を考える子

今年のテーマ

笑顔で おはよう また明日

3 めざす学校像

学校教育目標

自ら考え行動する **心豊か**で笑顔あふれる子どもの育成



個性を尊重し、つながりを大切にした笑顔あふれる学校

子供に関わる全ての人々の力を結集して、指導・支援にあたる。

多様性、いじめ、不登校に全職員で対応していく。

○家庭・地域のつながりを活かした協働の取組

○地域と連携した教育活動、開かれた教育活動

4 めざす教師像

- ・明るく心身共に健康で、表情豊かな教師
- ・豊かな人間性と社会性をもつ教師
- ・使命感をもち、情熱をもって教育にあたる教師
- ・子供と共に考え、子供の気持ちを理解できる教師

**チーム江戸小を真ん中
においた教師に**

5 学校経営の基本方針

(今年度の重点)

- ・みんなが進んであいさつができる学校に
- ・だれもが安心して生活できる居場所を
- ・開かれた学校と地域の活用を
- ・人と人とのつながりを大切にした教育活動を
- ・心に響く 心を動かす教育を

(1) 主な取り組み

確かな学力 わくわく

①楽しくてわかる授業の実践(個別最適な学びと協働的な学び)→自己有用感の向上

- ・教科担任制による専門性を活かした授業
- ・教材研究の時間の確保
- ・ICT 機器の利活用

② 算数をはじめとした基礎基本の徹底

- ・学習規律の定着
- ・指導過程の整備、定着
- ・繰り返し練習による基礎基本事項の定着

③ 読書の推奨

④ ICT 機器、タブレット端末の活用による新たな学びのスタイルを築く。

豊かな心 にこにこ

- ①あいさつ 返事（お:大きな声で は:はっきりと じ:自分から き:気持ちをこめて）
- ②豊かな人間関係づくり
 - ・異年齢交流(にこにこ学級)
 - ・地域の方々との交流(総合的な学習の時間を軸に)
 - ・道徳教育の充実(年1回は道徳の授業を授業参観で公開)
- ③多様な体験活動
 - ・意図的・計画的な体験活動を立案、実施する。
 - ・教科横断的に学習を仕組む
 - ・地域連携教員と学校支援コーディネーターの活用

健やかな体 いきいき

- ①進んで体を鍛える場の設定
 - ・外遊びの奨励、ロング昼休み（運動の日常化）
 - ・外部人材の活用検討
 - ・体育用具の工夫と教材開発（楽しく学ぶ）
- ②命と健康を大切にする教育の推進
 - ・防災、不審者対応等訓練（南海トラフを想定してみる）
 - ・養護教諭、栄養士などとの協働の取り組み(授業等)
 - ・職員の研修（AED、エピペン）
 - ・関連機関との連携
- ③安全確保と危険防止
 - ・着実かつ効果的な安全点検の工夫
 - ・意図的、計画的な交通安全指導
 - ・危機回避能力向上のための指導

「チーム江戸小」で子どもを育む取り組み

- ①児童理解を基盤とした学級経営（誰でも居場所がある、安心していられる）
 - ・子どもの話をよく聞く、観察する、違和感を見逃さない
 - ・子どもの情報を共有し活かす(授業中、休み時間、給食等)
- ②生徒指導体制の充実
 - ・報告、連絡、相談を大切にし、組織で対応する。
（担任→学年主任→生徒指導主任→管理職）すばやい対応を
 - ・いじめに対する早期発見・早期対応できる体制の充実
江戸小いじめ防止基本方針を全職員が順守
 - ・児童の状況は、記憶ではなく、必ず記録に残す。
- ③特別支援教育体制の充実

- ・特別支援コーディネーターを中心としたケース会議
 - ・通常級での支援が必要な児童の情報共有
- ④業務改善への積極的な取り組み

地域とのつながりを大切にしたい学校

- ①家庭・地域の教育力を活かした協働の取り組み
- ・保・幼・小・中・特別支援学校等と連携した教育活動の充実
 - ・地域連携教員と学校支援コーディネーター、職員との連携
 - ・地域、保護者等と連携した教育活動の推進と広報活動
 - ・家庭とのつながりを深めるために良いことを積極的に伝える。
(電話、連絡帳、一筆箋を連絡帳に、スクールライフノート)
 - ・地域の方との協働授業
 - ・学校だより、学年だよりの充実(子どもの様子、学校の様子を紹介)
 - ・HP による積極的な情報発信。タイムリーな更新を。
- ②地域との関わり
- ・地域行事への積極的な関わり
 - ・地域学校協働本部
 - ・社会福祉協議会